なないろ駒岡事業所自己評価シート

2025(令和 7) 年度

職員による自己評価

A環境面

・子どもが安心して活動できるよう、環境設定に配慮している。

・構造上、完全なバリアフリー化は難しいが、安全に配慮した設備配置を行っている。

B児童への支援内容

・定期的なミーティングを通して職員同士で支援内容を共有し、個々に合わせた対応を行っている。

・自立へつながる経験が積めるよう、さまざまな活動を取り入れ、意欲的に参加できる環境を整えている。

C関係機関との連携

・学校等の関係機関と情報交換・共有しながら連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

・送迎時や連絡帳を活用し、日々の活動の様子や行動の変化について丁寧に共有している。

・相談や申し出があった際には、電話や面談を通して速やかに丁寧な対応を行っている。

E非常対応

・災害発生に備え、年 2 回の避難訓練と社内研修を実施している。

保護者による評価

A環境面

・過ごしやすい活動環境を整え、快適な空間を確保している。

B児童への支援内容

・面談等で支援のご希望やご相談内容を、個別支援計画に適切に反映している。。

・活動内容は常に工夫され、子どもが興味を持って楽しめるようになっている。

C事業所からの情報発信

・Facebook や毎月のお便りを通して、日々の活動の様子を確認できるようになっている。

・送迎時や連絡帳を通して、情報の共有が行われている。

D非常対応

・災害時の避難場所や対応方法について説明が行われている。

・子どもが理解しやすいよう動画を活用して避難方法を学ぶことで、行動の見通しを持てるようになっている。

事業所内での分析

【共通点】

・日々の生活の中で小さな成功体験を経験させることで、子どもが自分で考えて行動できるようになっている。

・送迎時や連絡帳、面談を通じて保護者のご希望やご相談内容を個別支援計画に反映することで、保護者の安心感や信頼関係の向上につながっている。

【相違点】

・友達との関わり方（言葉の選び方や態度について）のトレーニングをしてもらえるとさらにありがたいとの要望がある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・保護者の方々と連携を深め、情報共有を図りながら、個々の子どもの個性や状況に沿った支援を大切にしている。

・定期的な研修・ミーティングにより支援の統一を図りつつ、職員同士で改善点について意見交換する機会が確保されている。

事業所の改善点

・各関係機関との協力体制をさらに充実させ、必要な情報を的確に収集する。

・対人関係のスキルを身につけられるよう、支援内容をさらに充実させていく。思いやりのある言葉の使い方や、相手に伝わる態度について学べる機会を設け、活動後の振り返りを通して自信につながる経験が増やせるよう支援していく。

事業所の改善への取り組み

・外部研修に参加する機会をさらに増やし、知識や対応力を高められるよう取り組んでいく。
・一人ひとりの特性や興味に合わせた活動内容を取り入れ、多様な経験ができる環境を整えていく。
・保護者様の気持ちに寄り添い、安心して相談できる雰囲気を大切にしながら信頼していただける関係を築いていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

評価表へのご協力、誠にありがとうございました。
皆様からいただいたご意見を大切にし、今後の支援の改善へとつなげてまいります。
利用者様が笑顔で過ごせる環境づくりのため、改善点を明確にして具体的な取り組みを進めるとともに、職員同士の連携と情報共有を図り、支援の質向上に努めてまいります。

事業所名　放課後等デイサービスなないろ駒岡
担 当 者　梶尾　明央